

IV 各教科の分析結果

国 語

1 得点分布及び小問ごとの正答率

〈表1〉得点分布

得点	人数	
	人数	%
100	0	0.0
90～99	7	1.1
80～89	35	5.4
70～79	99	15.2
60～69	160	24.6
50～59	146	22.5
40～49	106	16.3
30～39	62	9.5
20～29	29	4.5
10～19	6	0.9
1～9	0	0.0
0	0	0.0

*合格者の中から、無作為に抽出した650人(12.7%)の結果である。

*%の数値は、小数点第2位を四捨五入したものである。

〈表2〉小問別正答率(%)

大問	小問	正答率	
㊦	問一	㉠	89.7
		㉡	85.9
		㉢	78.3
	問二	i	56.5
		ii	68.5
	問三		72.5
	問四		42.5
	問五	A	82.2
		B	46.2
	問六		67.7
小計		64.3	
㊧	問一	㉠	85.2
		㉡	61.7
		㉢	90.2
	問二		57.7
	問三		75.7
	問四		52.7
	問五	ア	79.9
		イ	58.1
	問六		45.2
	小計		62.8

大問	小問	正答率	
㊨	問一	31.8	
	問二	89.1	
	問三	73.2	
	問四	33.4	
	問五	30.2	
小計		42.0	
㊩	問一	47.2	
	問二	読み	94.4
		内容	53.5
	問三	45.6	
	問四	㉡	20.6
		㉣	22.5
問五	78.6		
小計		51.2	

〈表3〉大問別の正答率の経年比較

大問	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
㊦ 文学的文章	61.1	64.3	62.0	62.0	64.3
㊧ 説明的文章	59.6	64.4	52.9	50.3	62.8
㊨ 活用	59.8	44.5	67.6	38.4	42.0
㊩ 古典・韻文	60.8	51.5	45.4	59.4	51.2

2 分析結果の概要

合格者の国語の平均点は、55.3点で、昨年度と比べ上昇した(昨年度52.3点)。

〈表1〉について、70点以上の人数は全体の21.7%で、昨年度に比べ増加した(昨年度12.9%)。40点未満の人数は全体の14.9%で、昨年度に比べ減少した(昨年度16.5%)。60点～69点を中心として、ほぼ正規分布となっている。

〈表2〉について、正答率80%以上の問題数は7問で、基礎的・基本的な知識・理解を問う設問の正答率が高かった。正答率40%未満の問題数は5問で、文章や資料から読み取った情報を思考・判断して表現する設問の正答率が低かった。具体的には、文語のきまりの問題(㊩の問二)、漢字の読み書きの問題(㊦の問一、㊧の問一)、書写の問題(㊨の問二)の正答率が高かった。一方、古文と漢文を読み比べて相違点をまとめる問題(㊩の問四)、文章やグラフから読み取った情報を活用して自分の考えを書く問題(㊨の問四・問五)、漢和辞典を効果的に活用する問題(㊨の問一)の正答率が低かった。

〈表3〉について、㊧の説明的文章を正確に理解してまとめる問題や㊨の文章や資料を活用して自分の考えをまとめる問題の正答率は、昨年度より高かった。一方、㊩の古文と漢文を読み比べて内容をまとめる問題の正答率は、昨年度より低かった。㊦の文学的文章を表現に即して読み味わう問題の正答率は昨年度とほぼ変わらなかった。

3 標準解答及び大問ごとのねらい



〈標準解答〉

問一	㉑ せいじゃく ㉒ 手招 ㉓ 興奮
問二	i エ ii ア
問三	砂浜の波が
問四	記号 ウ 根拠 千鶴が本気
問五	A (例) 新しい自分になる ----- B (例) 自分のやりたい吹奏楽部に入部して、真面目に練習を積み、今まで以上に努力することで、新しい自分になろう
問六	エ

〈ねらい〉

豊かな心を育てるという観点にも配慮し、文学的文章を素材として、文学的文章を読むための基礎力や登場人物の言動や心情を的確にとらえる力、読み取った内容を適切にまとめる力等をみる問題である。



〈標準解答〉

問一	㉑ 季節 ㉒ がいかい ㉓ と
問二	4
問三	イ
問四	(例) 人が蓄積だけが続けて、創造することもないまま年を重ね、生涯を終えてしまうこと。
問五	ア 妨害条件 イ 蓄積
問六	ウ

〈ねらい〉

幅広いものの見方や考え方を養い、視野を広げるという観点にも配慮し、説明的文章を素材として、説明的文章を読むための基礎力や、文章の論理の展開や要旨を正しくとらえる力、読み取った内容を適切にまとめる力等をみる問題である。



〈標準解答〉

問一	a (例) 総画 b (例) 五画
問二	ア
問三	ウ
問四	(例) 「他山の石」という言葉については、その意味が分からなかったり、誤ってとらえたりする人が多いようです。特に私たちに近い世代は、意味を誤ってとらえる人が多い傾向にあります。現代では、ことわざを通して考えを伝え合うことが、難しくなっているように思います。
問五	(例) 後輩の皆さん、他人の言動や古くからある言葉に学び、これからも自分という宝石を磨き続けてください。

〈ねらい〉

様々な言語文化についての関心を深め、身近にあるすぐれた表現に学び、自己を向上させようとする態度を育てるという観点にも配慮し、国語の授業で、ことわざや故事成語を使って自分の思いを伝えるという設定を通して、文章やグラフなどの資料から必要な情報を読み取りまとめる力、読み取った情報を基に、自分の言葉で表現する力等をみる問題である。また、書写は、行書の理解をみる問題である。

四

〈標準解答〉

問一	①・④
問二	読み方 わざわい 内容 花散りぬ
問三	エ
問四	② (例) 苗を植える時期を遅らせたから。 ----- ④ (例) 苗を引っぱって伸ばしたから。
問五	イ

〈ねらい〉

魅力ある様々な古典作品を読み味わい、古典の世界に親しむ態度を育てるという観点にも配慮し、古文、漢文の素材を通して、古典を読むための基礎力をみるとともに、複数の文章を読み比べ、内容を理解し、まとめる力等をみる問題である。

4 小問ごとの内容及びねらい

大問	小問	内容	出題のねらい			出題形式				評価の観点				正答率
			記号 選択	抜出	記述	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	知識 理解	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	知識 理解	
二	一	文学的文章	漢字を正しく読み書きすることができる。			○						●	①89.7 ②85.9 ③78.3	
	二		文脈に即して助詞のはたらきを正しくとらえることができる。	○							●	●	i 56.5 ii 68.5	
	三		表現の特徴を理解し、登場人物の心情をとらえることができる。		○						●	●	72.5	
	四		登場人物の行動や心情を踏まえて、効果的な朗読ができる。	○	○		●				●		42.5	
	五		文章の展開に即して登場人物の心情の変化をとらえ、まとめることができる。			○			●		●		A 82.2 B 46.2	
	六		文章表現の特徴やその効果をとらえることができる。	○							●	●	67.7	
三	一	説明的文章	漢字を正しく読み書きすることができる。			○						●	①85.2 ②61.7 ③90.2	
	二		文章の構成や論理の展開の仕方をとらえることができる。	○							●		57.7	
	三		文章の展開に即して内容を的確にとらえることができる。	○							●		75.7	
	四		文章の展開に即して内容を的確にとらえ、まとめることができる。			○			●		●		52.7	
	五		文章の展開に即して内容を構造的にとらえることができる。		○						●		A 79.9 イ 58.1	
	六		文章の主旨を的確にとらえることができる。	○							●		45.2	
三	一	活用	漢和辞典を正しく活用することができる。			○						●	31.8	
	二		行書の基礎的な知識や漢字と仮名の調和を踏まえて行書を書くことができる。	○								●	89.1	
	三		慣用的な表現を正しく使うことができる。	○							●	●	73.2	
	四		情報を正しく読み取り、伝える内容を明確にしてまとめることができる。			○			●		●		33.4	
	五		複数の情報を関連づけ、条件を踏まえて内容を簡潔にまとめることができる。			○			●		●		30.2	
四	一	古典	助詞のはたらきを理解し、文脈に即して主語を正しくとらえることができる。	○							●	●	47.2	
	二		歴史的仮名遣いを、現代仮名遣いに直して読むことができる。			○						●	94.4	
	三		文章の展開に即して内容を的確にとらえることができる。		○						●		53.5	
	四		文脈に即して語句の意味を正しくとらえることができる。	○							●	●	45.6	
	五		複数の文章を読み比べて、相違点を的確にとらえ、まとめることができる。			○			●		●		②20.6 ④22.5	
	六		複数の文章を読み比べて、共通点を的確にとらえることができる。	○							●		78.6	